

グローバル経営学会会員各位

グローバル経営学会 第7回シンポジウムご参加御礼

平成28年11月18日（金）～19日（土）に常翔学園大阪センターにて開催しましたグローバル経営学会第7回シンポジウムは、40名を超える多数の方々にご参加いただき、無事盛会のうちに終了することができました。

これもひとえに皆様の多大なるご支援とご協力のおかげです。心より厚く御礼申し上げます。

今回のメインテーマは「合理的な競争社会の構築」と致しましたが、ご専門の異なる皆様方で横断的に、まさに「グローバル」な討論が出来たことは何よりの有意義な成果であったと思います。最低限度の運営で不行き届きも多く、皆様方に大変ご不便をおかけしましたが、何卒ご容赦お願い申し上げます。

皆様の益々のご健勝・ご活躍と今後のグローバル経営学会の発展を祈念し、この場をお借りしてお礼の挨拶とさせていただきます。

グローバル経営学会 会長 下左近 多喜男
シンポジウム誌編集委員長・理事 近 勝彦
褒章委員長・特別顧問 田村 進一

グローバル経営学会 第7回シンポジウム「合理的な競争社会の構築」開催報告

[会期] 2016年11月18日（金）～19日（土）

[会場] 常翔学園大阪センター（大阪市北区梅田3-4-5 毎日インテシオ3階）

[会長] 下左近 多喜男（大阪工業大学 教員）

[プログラム・日程] 本誌巻末



名刺交換会（2016年11月19日（土）常翔学園大阪センターラウンジ「翔」にて）

会場風景 1 (研究発表 2016年11月18日(金))

一般講演 (13:30~19:30) C会場 301室

幸い好天にも恵まれ、初日冒頭から熱い討論が行われました。PC接続の不調や当日の急な代講など、様々な事情等も発生しましたが、近研究室一門の先生方をはじめとした皆様の柔軟な対応により、大過なく発表を執り行うことができました。



中には、多くの女性会員により熱心に聴講された、人気講演もありました。



会場風景 2 (研究部会発表 : 2016 年 11 月 19 日 (土))

北摂アントレ研究部会 (10 : 10 ~ 11 : 30) B 会場 302 室

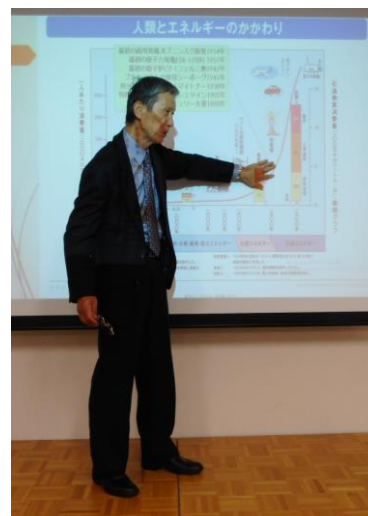
イーベルスベルク株式会社の東 忠男 代表取締役より、能勢酒造の子安様、住まい創造舎の漆谷様、ディーラリエの岩見様にお声かけしていただき、学会発表の形で地元企業の成功例をご紹介いただきました。



ビジネス・シーズ研究部会 (9 : 30 ~ 12 : 10) C 会場 301 室

日本原子力文化財団のサポートを受けて、ミニシンポジウム「GPI 管による放射性廃棄物の安全地下埋入技術とその基礎」を開催しました (写真左 : 米虫節夫先生の講演)。

元日本原子力研究開発機構の岡本弘信先生 (写真右) を講師として招き、高レベル放射性廃棄物の処分計画と現状について、途中地震が発生して電気がストップしてもめげず、12 時 10 分に田村先生が終了を合図するまで止まらない、熱い講演をいただきました。



会場風景 3 (基調講演・特別講演：2016年11月19日(土))

基調講演 山本 泰三先生(株式会社エコ・サポート代表取締役)(13:00~14:00)



天然ガスによる先進型火力発電の実現への取組みについて、エネルギー分野について知らない方にもわかりやすいように、予めA4用紙1枚にまとめたレジюмеをお配りになり、懇切丁寧なご発表とともに、熱い討論をなさりました。

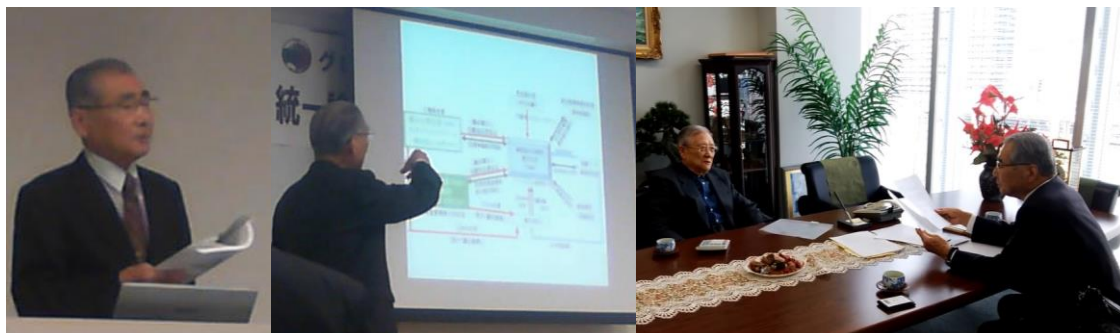
特別講演 河野 一隆先生(九州国立博物館 企画課長)(14:00~14:40)



邪馬台国の九州説・畿内説を、九州国立博物館の職員という立場から、関西圏が多数を占める会員の私達に、親しみやすくわかりやすく紹介して下さいました。最後には泉南市の山之井の水についてもホワイトボードで紹介いただきました。

会場風景 4 (キーノートレクチャー・パネル討論：2016年11月19日(土))

キーノートレクチャー 大塚 豊 先生(公認会計士大塚豊事務所) (14:45~14:55)



大塚先生の講演では、大洋リアルエステートの堀内正雄社長が直面した、司法はおろか大洋側の弁護士までが大企業になびいた事例を取り上げ、法曹関係者の歪みについて斬り込みました。(裁判官がNBL裁判と同じ人物だったとのことです)。

パネルディスカッション「合理的な競争社会の構築」(14:55~16:45)

第1部 2016年の大阪地裁民事判例(14:55~15:25)



NBL 研究所が日立造船コンポジットマテリアルと石油ガス採掘FRP管の開発技術(知財権の乗っ取り詐欺を新会社分割、破産処理で事件)について争った裁判で全面敗訴が確定しました。この事例を原告代表でもあった西野義則社長が紹介しました。

また、大洋リアルエステート株式会社が被害を受けた三菱地所の御堂筋ビル乗っ取り詐欺事件の事例では、損害賠償の全面敗訴とその不当性について、堀内正雄社長のビデオ参加による紹介(インタビューア：大塚豊先生)がありました。

両事例とも、公平性を欠く裁判官の対応に問題があることで一致していました。

第2部 抗争ビジネスの裏側(15:25~15:50)



- (1) 1999年4月江蘇省双良集団公司による、NBLの駐車場技術無断搾取事例
 - (2) NBLと上海注油との折半で上海NBL管材有限公司合資企業設立、技術提供NBL、経営を上海中油が行った事業が頓挫し、操業停止のうえ訴訟を起こされた事例
- 以上を西野社長が紹介しました。さらに徐氏が挨拶を兼ねて付け加えました。

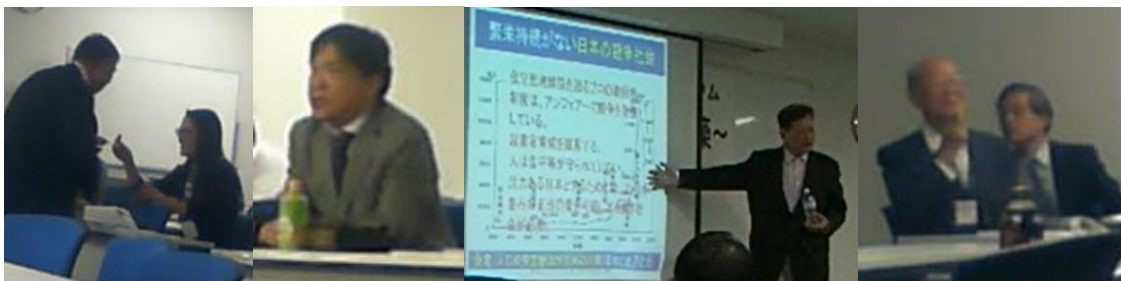
総合討論 (16:00~16:45)



西田先生が座長、田村先生が副座長となり、大塚先生・西野社長・河野先生に加えて、元島屋ビジネスインキュベータの辻尾脩先生がパネラーとなり、総合討論を行いました。



辻尾様は、ベンチャー企業育成に無担保無保証融資が必要と現場の声を挙げました。田村先生が「遊びのない世界は、うまくいかなくと絶滅する。サボるアリも生産性には必要」と紹介されました。大塚先生は、現在のほとんどの仕事はなくなる。いずれ男は不要になる、ノーベル賞受賞者による、企業へデリバティブを課す必要性を説かれました。西田先生は、医療の不合理など身近な不合理についてコメントされました。



西野社長が打ち出した、文化と人口推移との関係の仮説+日本の対してオーディエンスから「アングロサクソンのルールに支配されている」との熱い意見があり、さらに西野社長が「現実の会計・評価法が存在しない」と意見を返して会場はヒートアップ。しかしそこは西田先生。いずれの意見も否定せず、いじめの問題からひいては公平な社会構築のために、モラルも大切な一方、対症療法、教育も大切であると、綺麗にまとめられました。

表彰式

褒章委員長 田村 進一

グローバル経営学会では、当学会のみならず、日本の学界を半世紀以上の長きにわたり牽引されてきた西田俊夫先生に、功労賞を贈呈させていただくとともに、次年度以降は、西田先生のお名前を冠した「西田記念賞」を設立させていただくことになりました。



グローバル経営学会 功労賞（西田 俊夫 先生）

また平成 28 年度は、褒章委員会による厳正な審査の結果、特に優れた論文を発表された下記のお二人の先生方が、優秀講演賞を受賞されました。



優秀講演賞（近 勝彦 先生）



優秀講演賞（谷本 和也 先生）

グローバル経営学会 第7回シンポジウム 講演会プログラム

11月19日(土) A会場(301・302 連結)

会長挨拶(12:55~13:00)

基調講演(13:00~14:00)【A会場】

A-01「天然ガスによる先進型火力発電の実現への取り組み」

山本 泰三(株式会社エコ・サポート代表取締役)

[司会]赤木文男(福岡工業大学教授)

特別講演(14:00~14:40)【A会場】

A-02「文化財を見る・見せる技術」

河野 一隆(九州国立博物館 企画課長)

[司会]田村進一(大阪大学名誉教授)

キーノートレクチャー(14:40~14:50)【A会場】

A-03「合理的な競争社会の構築」

大塚 豊(公認会計士大塚豊事務所代表)

[司会]西田俊夫(元大阪国際大学学長)

公開パネルディスカッション・Web講演(14:50~16:45)【A会場】

A-04-06 公開事件の未公開事実を事例としたパネルディスカッション

総合司会:西田 俊夫(元大阪国際大学学長)

第1部:日本国内・国際社会の歪(14:50-15:20)

司会:米虫 節夫(食品安全ネットワーク最高顧問)

堀内 正雄(大洋リアルエステート株式会社 代表取締役) (ビデオ参加)

西野 義則(株式会社NBL 研究所 代表取締役)

第2部:日中紛争ビジネスの裏側(15:20-15:50)

司会:田村 進一(大阪大学名誉教授、株式会社NBL 研究所長)

徐 冰(中国上海阳光卓众律师事务所, 元検事)

西野 義則(株式会社NBL 研究所 代表取締役)

◇コーヒーブレイク(15:50-16:00)

総合討論:合理的な国際社会の構築(16:00-16:45)

司会:西田 俊夫(元大阪国際大学学長)

辻尾 脩(元島屋インキュベータ課長)

野間口隆郎(和歌山大学経済学部ビジネスマネジメント学科教授) (資料提供)

他、第1部・第2部のパネラー

連絡・報告(16:45~17:00)

「表彰式」

田村 進一(褒章実行委員会委員長、大阪大学名誉教授)

「閉会挨拶」

下左近多喜男(一般社団法人グローバル経営学会会長)

[司会]近 勝彦(大阪市立大学教授)

名刺交換会(17:00~19:00)

グローバル経営学会 第7回シンポジウム 研究発表プログラム

一般講演(11月18日(金)-C会場 301室)

第1部 (情報工学を用いた経済分析 1) (13:30~14:15)
C-01 「新しいICTに対する経済学的分析」 近 勝彦 (大阪市立大学大学院教授)
C-02 「アンケート調査からみる情報セキュリティ意識」 金野 和弘 (島根県立大学)

第2部 (情報工学を用いた経済分析 2) (14:25~15:10) (座長:近 勝彦)
C-03 「ネットショッピング利用率と店舗接近密度に関する考察」 名淵 浩史 (大阪市立大学大学院)
C-04 「化粧品のブランドに関する実証分析」 顧 冬明 (大阪市立大学大学院)

第3部 (情報工学を用いた経済分析 3) (15:20~16:55) (座長:近 勝彦)
C-05 「経験型ビジネスの展望とその課題」 橋本さやか 上根 学(株式会社カミネ商事)
C-06 「外食行動における消費者欲求の構造の分析」 島 浩二 (大阪市立大学大学院)
C-07 「自転車製造業のサービスビジネス化に関する一考察-ジャイアント社の事例より-」 小倉 哲也 (太成学院大学)
C-08 「中小企業の新規事業に対する公的補助の成果」 梅原 清弘 (中小企業診断士)

第4部 (情報工学を用いた経済分析 4) (18:00~19:35) (座長:小倉哲也)
C-09 「日本のIC産業の衰退要因模の一考察」 船越 亮 (大阪市立大学大学院)
C-10 「観光の新しい展望とその課題」 西堀 俊明 (大阪市立大学大学院)
C-11 「ROMとRAMのアクティブコンシューマ経験に関する考察」 谷本 拓也 (大阪市立大学大学院)
C-12 「国内のサイクルツーリズムの現状と可能性-琵琶湖一周サイクリングにより誘客をはかる守山市に着眼して-」 林 恒宏 (大阪成蹊大学)

<一般社団法人 グローバル経営学会>

会長: 下左近 多喜男 (元大阪工大・博士 (経営学))
理事: 近 勝彦 (大阪市立大学大学院 教授)
理事: 釣島 平三郎 (太成学院大学 教授)
理事: 森田 浩一 (文殊システム・ソリューション代表取締役)
顧問: 西田 俊夫 (阪大名誉教授・大阪国際大学元学長・理学博士)
顧問: 兒玉 正憲 (九大名誉教授・広島修道大学元学長・理学博士)
特別顧問: 田村 進一 (阪大名誉教授・工学博士)
特別顧問: 西野 義則 ((株)NBL 研究所表取締役・工学博士)

一般講演(11月19日(土)-B会場 302室)

第5部 (情報工学を用いた経済分析 5) (9:30~10:10)
B-101 「ITの急速な発展が不動産仲介業務にもたらした構造変化について」 田村 匡 (大阪成蹊大学)
B-102 「生涯スポーツ、特に競技スポーツ普及のための問題点と提案-バドミントンを事例に (関西ワールドマスターズゲームズ2021にむけて)-」 田村 匡 (大阪成蹊大学)

研究部会発表(11月19日(土)-B会場 302室)

北摂アントレ研究部会発表 市民企業・地元企業の成功例と舞台裏 (9:30~11:30) (座長:東 忠男 (イーベルスベルク株式会社代表取締役))
B-103 「北摂アントレ研究部会設立の経緯と現状報告」 下左近多喜男 (グローバル経営学会会長)
B-104 「能勢サイダーの開発・販売、関連商材の開発秘話」 子安 丈士 (能勢酒造株式会社代表取締役社長)
B-105 「古民家レストランの開業と関連商品の開発秘話」 漆谷 克子 (株式会社住まい創造舎代表取締役)
B-106 「ドリマム事業と女性新起業家の育成と営業支援の秘話」 岩見 尚見 (株式会社ディーラリエ代表取締役)
B-107 「クリエイターの創造性を促進させるチームマネジメント会話分析における「あいづち」の考察」 太古 益樹 (大阪市立大学大学院)

研究部会発表(11月19日(土)-C会場 301室)

ビジネス・シーズ研究部会発表 「GPI管による放射性廃棄物の安全地下埋入技術とその基礎」 第1部 (放射性廃棄物とその基礎) (9:30~10:30) (座長:米虫節夫)
C-101 「必要な環境放射線:環境汚染と人体への影響の真実」 河野 摩耶 (近畿大学大学院)
C-102 「放射性廃棄物の無害処理に必要な条件」 西谷 陽志 (大阪大学大学院 医学系研究科)
C-103 「放射性物質処理のための GPI 管基礎技術」 辰巳 泰我 (株式会社 NBL 研究所)

第2部 (放射線及び放射線処理技術の本質)
(10:40~12:10) (座長:田村進一)

C-104 「GPI 油井管を応用した放射性物質の深層地下処理技法」 西野 義則 (GPI 標準化委員会 副理事長)
C-105 「低線量放射線の健康影響」 米虫 節夫 (食品安全ネットワーク最高顧問)
C-106 「高レベル放射性廃棄物の処分計画と現状について」 岡本 弘信 (元日本原子力研究開発機構、日本原子力学会シニアネットワーク連絡会)
C-107 質疑応答・ミニパネルディスカッション 田村 進一 (ビジネスシーズ研究部会長)